

# Hokkaido ECO action!

北海道エコ・アクション

知床の海でとらえた貴重な一瞬。

寺沢さんがこの写真を撮影したのは2005年4月2日、知床・霧臼沖の海中。流氷の上と下でアザラシ親子が見つめ合った瞬間です。アザラシは流氷の上で出産しますが、この年は知床半島付近に流氷がほとんどなく、アザラシの母はほとんどとらえませんでした。北海道の海に迫る異変と、その中でひたむきに生きる生命の美しさをとらえた貴重な1枚です。



もっと  
北海道  
2011

Special Number  
vol. 08

生物多様性って  
なんだろう?

「この数年「生物多様性」という言葉が広く知られるようになってきました。皆さんはその意味をどのように捉えているのでしょうか。「生物多様性」には、「いろいろな生き物がいること」「種の多様性」「さまざまな生物が関わり合っていること」「生態系の多様性」同じ種でも生息環境によって異なる特徴を持つこと」「遺伝子の多様性」という三つの側面があります。特に遺伝子の多様性は興味深いものがあります。たとえば私が生まれ育った上川管内の山中でよく見

## 生物多様性を守る。 地球の未来を守る。

動物も植物も人間も、みんなこの地球における「生物多様性」を担う生き物同士。さまざまな生き物やその生息環境を守り継いでいくことは、私たち人間の、そして地球の未来を守ることであります。「守りたい生命プロジェクト」を主宰する天売島在住の自然写真家・寺沢孝毅さんに、生物多様性の現状と課題について伺いました。



たワカラスという鳥は、川底の幼虫を食べています。ところが知床で見るとワカラスが食べているのはカブトガサが産卵したワカラス(オロロン鳥)も500km離れたサハリンの同種と比べると顔や足など特徴が異なっています。これらはまさに遺伝子の多様性の証といえるでしょう。

「「知る」と「知る」から始める、地球の未来」  
北海道は豊かな自然が身近にあり、さまざまな生物が生息し、生物多様性を肌で感じられる素晴らしい場所です。でも地元で暮らしている人それぞれが当たり前だと思いつつ、危機意識が薄くなり、環境や生態系とつながり、ひいては地球そのものにつながっています。だからこそ、まずは身近な生命に愛情を持ってほしい。その愛情が増えれば、地球全体を慈しむ愛情となります。そのため

の第一歩は「知る」です。人間同士もお互いを知ることが愛情を育んでいきます。自然も生物も同じこと。いま身近な自然で何が起きているのか、まずは事実を知ってください。そして人間の消費がどれほど自然に負担を掛けているのか、自分から考えたい。そうすれば、自然にやさしい消費の仕方を考えることができます。そんな小さな積み重ねが、地球の未来を守る力になると思います。



自然写真家  
寺沢 孝毅

1960年北海道生まれ。天売島で小学校教員を務める傍ら、ウミガサなど海鳥の保護・調査活動に着手。教員を退職後は自然写真家に転身。天売島をはじめ知床、北極圏、ポルネオなど世界各地の生物の生息環境の悪化を写真家の視点から伝えている。99年天売島海鳥情報センター「海の宇宙館」を開設。2006年には長年の鳥類保護活動が認められ、日本鳥類保護連盟会長賞を受賞した。09年には「LLP守りたい生命プロジェクト」を設立するなど、活動の幅を広げている。

### LLP 守りたい生命プロジェクト サポートメンバー募集

「LLP 守りたい生命プロジェクト」は、寺沢孝毅さんが20年以上見つけ続けてきた自然や野生動物たちの現状を伝える活動を行っています。ただいま、活動を支えて下さるサポートメンバー募集中。  
●詳しくは <http://www.wildlife-p.com/>



お天気キャスター 菅井貴子の  
ECO Column  
[エココラム]

菅井 貴子(すがい たかこ)  
気象予報士・防災士・CNPなどの資格を有し、小中学校への環境授業や講演、コラム執筆なども行うほか、2009年11月に「なるほど! 北海道のお天気」(北海道新聞社)出版。

エコ大賞審査委員会に参加して  
エコ大賞に応募された作品は、どれも、「エコの発掘」でした。すっかり当たり前になったエコから、一歩も二歩も踏み込んだ活動。審査員として拝見させていただきながら、このようなエコがあったんだ!と、目からウロコのアイデアも多々でした。「これって、本当にエコなのか?」という切り口で、「これこそがエコだ!」の常識を覆すエコ活動。「昔の知恵を、現代に生かす」には、デザイン性をプラスしてレトロモダンに、「環境に優しい」「少しでも二酸化炭素を出さない」という純粋な

応募には、思わず、部屋の電気を消して、キャンドルの明かりの中、書類を拝見しなければという気持ちにさせられるほど。長時間にわたる審査会で、審査委員それぞれ、一致した見解は、「新しいアイディア・身近であること・北海道らしいか」に絞られました。北海道は、エコの素材、活用方法も、無限。まるで、北海道は、「エコひいき」されているかのようです。地域活性にもつながって、エコが北海道をもっと元気にしてくれそう。今回の大賞や奨励賞も、最先端のエコモデルになるようなアイデアです。発表をお楽しみに。

「北海道新聞エコ基金」への  
寄付のご協力をお願いします。

ECO Fund

- 募金方法/郵便振替
- 口座番号/02710-5-53438
- 口座名義/(財)北海道新聞野生生物基金
- お問い合わせ/(財)北海道新聞野生生物基金 TEL.011-210-5773(平日9:30-17:30)

北海道新聞エコ基金は、北海道の環境保護活動を支援するために北海道新聞野生生物基金内に「北海道エコ・アクション」と連動して設けられたプロジェクトです。

私たちが北海道エコ・アクションを応援します! 【OFFICIAL PARTNER】

ホクレン コブさぼろ 札幌トヨタ 三菱自動車

今できること、「考える」から「行動する」へ!  
▶ 詳細はホームページへ <http://eco.hokkaido-np.co.jp> 北海道エコ・アクション 検索

### エコカー減税車フェア

2/11 ~ 2/13

車の買い方提案! 車高価格の一部をあらかじめ残価(5年後の下取り価格)として残え置き、残りの金額を分割払うシステムです。

6らくセレクトプランご利用! お支払い例  
5年(60回払い)正金5.5% 支払開始4月 ボーナス・2月  
通常年々返済(消費税込) 2,223,100円  
ご購入お支払額(現金または下取り) 500,000円  
毎月お支払額(24回) 11,169円  
ボーナスお支払額(2回) 8,900円  
ボーナスお支払額(2回) 100,000円  
最終月(60回)のお支払額 622,468円  
お支払総額(消費税別) 2,660,837円

月々のお支払い額 8,900円

さらに! エコカー減税で! 約136,200円優遇

スライドドア ナビ+1 シリーズ

期間限定! 2011年1/5(水) ~ 2/31(水)

ISIS ESTIMA

アイリス G 1.8L 4WD 車両本体価格 2,533,200円(消費税別) 2,412,571円  
車両本体価格 1,929,000円 ~ 2,643,400円(消費税別)

エスティマ 特別仕様車 2.4L エアレス '20th Anniversary Edition' 4WD  
車両本体価格 3,275,100円(消費税別) 3,119,143円  
車両本体価格 2,805,100円 ~ 4,048,250円(消費税別)

約144,400円優遇 約170,700円優遇

プラスワン+ 1

- ①後席ディスプレイ(9型、8型)
- ②マルチビューバックガイドモニター
- ③バックガイドモニター
- ④マルチアングル全周四モニター
- ⑤リモートスタート
- ⑥プラスマクラスターイオン空気清浄器(クリートモニター)

2011年1月9日(土) ~ 3月27日(日)

### 燃費トライアル

燃費トライアルに挑戦で、豪華プレゼントが当たる!!

合計105名様に抽選でプレゼント!!

- ティファールホーム&バジェット
- シャーププラズマクラスターイオン発生器
- アタックスルルドマルチワザン

さらにWEBからの応募でWチャンス!!

燃費トライアルに参加して「ありのままの自然を感じる 絶景の湯を楽しむ宿」を当てよう!

全額合計200名様に100名200名様に全額100名様に当選いたします。

詳しくはWEBで! <http://toyota.jp/sp/shijo-saiko/>

ご来店プレゼント!  
期間:2月11日(水) ~ 13日(金)

期間中、ご来店いただいたお客様にバレンタインチョコプレゼント!

JARIBB JAER 0426

0120-030040